

～どんなことをしていくの？～
その2「まちづくりの推進を図る活動」



NPO法人を立ち上げるにあたって、まず『設立趣旨書』を練りました。私たちは何のためにこの団体を立ち上げ、何をしたいのか…を簡潔にまとめたもので、NPO法人として活動していくために“県”へ提出する書類です。団体にとって軸となるもので、この設立趣旨書を受けて、『定款』を練りました。その中で「特定非営利活動の定義」というのがあります。NPO法で定められているものですが、この“定義”には、17種類の活動があります。定款では、この17種類の活動の中から、何を選び、活動していくことにするかを定めます。そこで私たちは、「創刊号」でも紹介しましたが、◇まちづくりの推進を図る活動 ◇環境の保全を図る活動 ◇社会教育の推進を図る活動 ◇学術・文化・芸術またはスポーツの振興を図る活動 ◇子どもの健全育成を図る活動 ◇経済活動の活性化を図る活動 ◇職業能力の開発又は雇用機会の拡充を図る活動 ◇保健、医療又は福祉の増進を図る活動 の8つを定めました。(ちなみに、全てに「鬼無里の」という前置きが入ります。)

さらに、その8つの活動を実現すべく、12の事業を展開するように「定款」には定めていますが…それは、またいずれ説明するとして…

その中で「まちづくりの推進を図る活動」というのが、一番大きなテーマであると感じています。過疎化が進み、少子高齢化、後継者不足、農地の荒廃と鳥獣被害、という現実。そこへ、里山の整備、循環型環境社会の構築、観光・農林業・商業の発達などを行い、それらの問題が全て解決した時、理想のまちづくりができる気がします。

いわば他の7つの活動は、すべてこの「まちづくりの推進」のための手段だとも言えます。

今、私たちは、設立と同時に打ち立てた「理想」を「現実」にしようとして頭と体を使って動き出しました。某副理事長の口癖は「夢じゃない。実現するんだ」です。

理事長を筆頭に、住民と理事・正会員・賛助会員全員で協力して、「人と活気があふれる鬼無里」を実現しましょう！！



まめつてえ通信

第4号

平成22年7月15日

発行
NPO法人
まめつてえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
URL <http://www.kinasa.net>
mail mamettee@kinasa.net

8月のイベント案内 (他団体主催)

- 15日 鬼無里ふるさと夏まつり
 - 22日 ※奥裾花自然環境学習会<裾花川源流を歩く>
 - 29日 第5回鬼無里市開催きなさいち
 - 29日 ※乾燥野菜を使った料理講習会と講演会
(講師:池田玲子氏)
- ※マークはそれぞれ申し込みが必要です。

8月のスケジュール

- * 8月21日(土) am10:00 スタート
『きなさのごはん』
…ないものはたべない… ～夏のランチ会～
夏野菜のカレーを作ります。詳しくは別紙チラシで。
- * えごまくらぶ・だいずくらぶ
秋の収穫を待つばかり!…の予定。



<いろは堂ギャラリー情報>

7月14日～8月2日 本間友幸 陶芸 8月4日～8月23日 世間瀬七生子 水墨画 8月25日～9月13日 長野美穂 イラスト

できる事からはじめよう

理事 有澤 二三明

昨年9月の終わりに蒔いた菜の花が雪解けと共に、春のやわらかい日を浴びてすくすくと伸び、春の訪れを知らせる黄色の絨毯を敷き詰めてくれました。

この菜の花の種は、大町産で食用油を採るのに適している物だそう、農業公社の清水さんが分けてくれたものです。花も実も…と欲をかいて、「鬼無里産の菜種油」を採ろうと思っています。

これから刈取り作業をしなくていけないのですが、先日メンバー(と勝手に決めて)と手刈をし、シートを敷いて脱穀?をしてみました。半分ほど来年用に直播し、残りを油絞り用に使います。

雑草の多い田んぼで、大変でした。メンバーも口には出しませんでした。が嫌そうでした…。残りは、そば刈コンバインで刈ってもらう予定ですが、オペレーターは戸谷さんも「やったことが無いから自信が無いよ」と言いつつも、梅雨の晴れ間を見てやってくれるそうです。大町の美麻ではコンバインで刈り取りをしていました。

おいしくて健康に良く、耕作地の荒廃を減らせて、春のお花見ができる…

今年の油が絞れたら報告します。したいと思います。…できたらいいなー!!

(このグループ名はオイル・パワー。|| 老人力。老いる油。カ。)